



2月度の御書

「種種御振舞御書」

御文

妙法蓮華經の五字・末

法の始に一閻浮提にひろ

まらせ給うべき瑞相に日

蓮さきがけしたり

(御書910ページ)

意味

妙法蓮華經の五字が末法の

始めに全世界に広まっていく

前兆として、日蓮がさきがけ

たのです。

どんな時も自分を信じて前へ！

やあ！ ボクはライオン博士のキング君。毎日とても寒いけど、みんな元気かな？

ボクは朝、フトンから出るのが苦手で……。でも今年は「毎朝の勤行を欠かさずやろう！」って決めたから、一生けんめいに挑戦しているんだ（たまに、できない日もあるけどね……）。

お題目をあげると「今日もがんばるぞ〜！」って、勇気と元気がわいてきて、一日がとっても充実するよ。うれしいことが増えていくし、大変なことがあっても、負けない心で立ち向かえるようになるんだ。

だから、みんなのお父さんやお母さん、そして学会の人たちが、いつも「お題目はすごいよ」って、教えてくれているんだね。

「南無妙法蓮華經」のお題目を唱えれば、どんな人も、自分の中にある無限の力を引き出して、必ず幸せになれるんだ。それを発見したのが日蓮大聖人だよ。

大聖人は、お題目を「世界中の人々に教えたい！」と決意し、だれよりも早く行動したんだ。

そのことを今回の御文のなかで「さきがけ」と言われているよ。

くこと。

大聖人は「世界中の人が幸せになってほしい」と願い、「ちえ」と「勇氣」をもって、つらいことが起きることもおそれないで「さきがけ」の一步をふみ出していったんだ。

実は、一人の「さきがけ」に続いて行動を起こす人も、同じ「さきがけ」なんだよ。

みんなは今、お題目を唱えながら自分らしく挑戦をして、友情を広げているね。そんな一人一人が、「世界の平和」と「人々の幸福」の道をひらいていった大聖人と同じ「さきがけ」の人なんだ。

お題目を唱えていけば、自分の生命の中から最高の「ちえ」と「勇氣」を引き出していくことができる。

だからこそ大事なことは、どんな時も自分を信じて挑戦すること。祈りながら、前へ前へと進むことだよ！

池田先生は語られているよ。

「さあ、きょうも朗らかに題目を唱えながら、「勇氣の一步、をふみ出そう。真っすぐに、堂々と、希望に燃えて！」

昨日の自分よりも、大きな自分を目指して！ 今日からまた、ししの子らしく前進していこう〜！

「さきがけ」とは、みんなの先頭に立って道をひら